

設置環境の改善

標準室内機を設置した厨房で、ドレンポンプに油脂が詰まってドレン異常発生。
ドレンパンから直接排水するよう改造。

1. 既存設備の概要 とお客様の要望	<p>【既存設備の概要】</p> <p>ビル用マルチエアコンの標準室内機を客先要望により、厨房内設置</p> <p>【お客様の要望】</p> <p>再三、ドレン異常が発生。その都度、分解洗浄を実施するため、熱交換器のフィン、コイルの損傷がひどく、洗浄費だけでなく修理費も増大。また、作業時は休業となる。</p>
2. 提案した解決策	<p>【原因の特定】</p> <p>厨房内各フードのGFの汚れで、排気風量がダウンし、エアコンに油煙が吸引されフィンに油脂が付着。また、ドレンポンプの吸込み口に油脂が付着し吸込み不良となったのがドレン異常の原因。</p> <p>【提案した解決策】</p> <p>設置場所が厨房で、油脂が発生しやすい場所であること、ドレン水を床に直接放水してもOKで、見栄えにもこだわらないことから、暫定処置として、ドレンパンから直接放流することにした。</p> <p>また、配水管途中に透明ホースを接続し流水状態を確認できるよう改造を実施。今回の処置が認められて、ドレンパン清掃だけでなく、排気フード及びファンの定期洗浄清掃も受注した。</p>
3. 得られた成果とお客様の評価	<p>【成果】</p> <p>分解洗浄の作業頻度が大幅に低下した。また、作業のたびに閑散時の閉店作業も減少した。</p> <p>【お客様の評価】</p> <p>洗浄費・修理費のコストダウンとなり、大変ありがたい。 また、作業のたびに閉店もなくなり、営業面でも非常に喜ばれた。</p>

<p>4. 今後の課題と 展開</p>	<p>【課題】</p> <p>顧客からの要求事項とはいえ、厨房への標準機設置については十分な説明と同意を得るようにすることが必要である。</p> <p>また、ドレンポンプを必ずしも使用する必要がない状況であることを考慮し、対応を考えること。</p> <p>【今後の展開】</p> <p>定期的な洗浄は必要であるが、突発的に対応するのではなく、営業展開として保守契約の提案を行う。</p>
-------------------------	---